

資料の寄贈受け入れ・保存に関する取組について

しょうけい館では、戦傷病者とその家族の労苦に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示に取り組んでいるところであるが、「資料受入状況等に関する調査の実施について（協力依頼）」（令和7年11月19日付厚生労働省社会・援護局援護企画課事務連絡）に基づき、収蔵庫の状況や資料の受入状況等について調査を実施した結果、開館20年が経過し、収蔵庫の空き状況について、将来的な資料の受け入れを見据えると、今後の受け入れ体制をより確実なものとするための検討が必要であることが分かった。

厚生労働省としては、「資料受入状況等に関する調査の結果について」（令和8年1月26日付厚生労働省社会・援護局援護企画課事務連絡）でお伝えしたとおり、しょうけい館の趣旨に沿う資料については今後も積極的に受け入れていただきたいと考えており、将来的に、収蔵庫の不足が原因で貴重な資料が受け入れられないといった事態が生じないように取り組んでいく必要があるため、以下の対応を進めてまいりたい。

① 収蔵庫の整理による収蔵スペースの確保

※現状、破棄できるケースは「不可抗力による滅損・破損」といった場合に限られるところ、その資料の背景事情が不明瞭である等の理由で使用の見込みがない資料についても廃棄することができないかと考えている。

② 外部収蔵庫の拡張に向けた検討

【参考】関係資料

（別添1）しょうけい館における資料受入状況等に関する調査結果

（別添2）資料受入状況等に関する調査の結果について（令和8年1月26日付厚生労働省社会・援護局援護企画課事務連絡）

(別添1)

回答館名

しょうけい館

1. 基礎情報

(1) 収蔵庫について

収蔵庫の㎡数	自前	38.88㎡
	外部	132.00㎡
現状使用可能	自前	0.00㎡
	外部	12.00㎡

(2) 資料の受入方針について

<実物資料>

実物資料の過去5年間に寄贈を受けた件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
266件	337件	287件	262件	535件

実物資料の過去5年間に寄贈をお断りした件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
お断りした事例はあるが、件数は記録をとっていないため把握していない(資料、図書ともに年間10件程度)。				

寄贈をお断りした物の具体的な例及び理由

<ul style="list-style-type: none">・戦傷病者でない方々の資料・大型の資料で、収蔵庫に収まらない資料・有資格者でないと取扱いのできない医薬品や、内容物不明の医薬品・銃刀類
--

<図書資料>

図書資料の過去5年間に寄贈を受けた件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
17件	55件	70件	22件	70件

図書資料の過去5年間に寄贈をお断りした件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
お断りした事例はあるが、件数は記録をとっていないため把握していない(資料、図書ともに年間10件程度)。				

寄贈をお断りした図書の具体的な例及び理由

<ul style="list-style-type: none">・既に所蔵のある図書。・館の趣旨や、配架するにそぐわない図書。
--

＜その他資料＞

※しょうけい館は映像等も実物資料として位置付けている

その他資料の過去5年間に寄贈を受けた件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度

その他資料の過去5年間に寄贈をお断りした件数

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度

寄贈をお断りしたその他資料の具体的な例及び理由

--

2. 今後に向けた検討事項

資料の受入方針について

関係者の高齢化や民間博物館の閉館増が話題となる中で、国立の3館が果たす役割（展示・収集）は大きく、これまでよりも積極的に関連資料を受け入れていくことについて、どう考えるか。

これまでも積極的に収集をおこなっており、今後も同様におこなっていきたいと考えている。

一部の実物資料等は個人名が違うだけで重複する資料もあると考えられるが、

重複していても受け入れる場合、重複を理由にお断りする場合は、どのような考え方が。

戦傷病者と家族の労苦を伝える資料であれば、重複を理由に断る理由はなく、積極的に受け入れてまいりたい。

関連する資料とはいえ、受付を断らざるを得ないと考えられる資料にはどのようなものがあるか。

- ・資料の由来来歴が不明であり、関連情報の収集が極めて困難である場合。
- ・活用に極端な条件を付与される場合。
- ・保存・展示に堪え得ない劣化が著しい資料。

(別添2)

事 務 連 絡
令 和 8 年 1 月 26 日

昭 和 館
しょうけい館 御中

厚生労働省社会・援護局援護企画課

資料受入状況等に関する調査の結果について

平素から円滑な事業実施に御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

先般、「資料受入状況等に関する調査の実施について（協力依頼）」（令和7年11月19日付厚生労働省社会・援護局援護企画課事務連絡）にて、収蔵庫の状況や資料の受入状況等について調査をお願いしたところ、限られた調査期間にもかかわらずご回答いただき深く感謝申し上げます。

厚生労働省としても、国民が経験した戦中・戦後の生活の労苦を伝える資料や戦傷病者とその家族の労苦を伝える資料は、当時の状況を伝える資料であり、戦争の記憶の継承のためにも非常に重要なものと考えており、両館からの回答にありますとおり、館の趣旨に沿う資料については今後も積極的に資料を受け入れていただきますようお願い申し上げますとともに、資料整理等による収蔵スペースの捻出も進めていただけますと幸甚です。